

夏季施設の報告

5年生担任

5年生は、7月21日（金）～23（日）の3日間、長野県にある女神湖高原学園に行きました。

1日目は魚のつかみ取り、バーベキュー。楽しみにしていた夜のキャンプファイヤーは、雨天のため屋内でのキャンドルファイヤーとなりましたが、たくさん歌って踊って、大いに盛り上がりました。

2日目は八島湿原でのハイキングや牧場見学。理科や社会の学習と結び付けながら、ガイドさんや牧場の方の話に耳を傾けていました。夕食のカレー作りでは火起こしに苦戦しながらも、どの班も協力して美味しいカレーを完成させました。夜のきもだめしも、いい思い出になったことと思います。

3日目は佐久パラダのアスレチック。最終日も元気いっぱい楽しみました。

女神湖での3日間、一人一人が自分でやるべきことを考え、協力し合ったりカバーし合ったりして生活することができました。この経験を、2学期からの学校生活に活かしてくれることを期待しています。



全校の遊び

特別活動部

落四小では、年に6回ほど「全校の遊び」の時間があります。新型コロナ感染中は実施できませんでしたが、昨年度より再開することができました。

前期、全校児童が12のたてわり班に分かれてお互い自己紹介をし、自分たちで遊びの計画をたてます。それから1年間、6年生を中心にして楽しく遊びます。リレーやドッチボールなど、いろいろな遊びを通して違う学年の人たちと仲良くなっていきます。晴れの日、雨の日それぞれのバージョンを考え、更に1年生には特別ルールを作ったり、さり気ない優しさでフォローしたり、異学年集団だからこそその苦労とやりがいを感じています。そして3学期には5年生が中心になって、6年生の卒業を祝うカードを感謝の気持ちをこめて作ります。この1年間の活動を通して、6年生は最上級生としての自覚を高め、大きく成長していきます。その姿から下級生たちは様々な大切なことを学んでいきます。今年度は、後期に集会委員会の企画で活動を予定しています。縦割り班活動の新しい試みです。学年をこえ、一つの集団の中で協力して活動する「全校の遊び」は、日常の学級や学年とは違う人間関係を築く、素晴らしい機会です。